

AN 2003-162851 [16] WPIDS

DNN N2003-129000 [16]

TI Online goods information management system generates ring tone which is notified to user terminal, when received item is judged to be in agreement with stored item

DC T01; W01

IN HONMA Y; KUROSU H

PA (NISS-C) NISSHIN FLOUR MILLING CO

CYC 1

PI JP 2003015981 A 20030117 (200316)* JA 7[5]

ADT JP 2003015981 A JP 2001-197357 20010628

PRAI JP 2001-197357 20010628

IPC R G06F0013-00 [I,A]; G06F0013-00 [I,C]; G06Q0010-00 [I,A]; G06Q0010-00 [I,C]; G06Q0050-00 [I,A]; G06Q0050-00 [I,C]; H04Q0007-20 [I,A]; H04Q0007-20 [I,C]

AB JP 2003015981 A UPAB: 20050528

NOVELTY – A memory (23) stores information on item as desired by user. A detector (24) detects whether item received from server agrees with item stored in a memory, corresponding to detected location of portable terminal. A notification unit generates a ring tone which is notified to portable communication terminal of user, on receiving signal from a detector (24) when received item is in agreement with stored item.

USE – Online goods information management system.

ADVANTAGE – Effectively reminds the purchases to purchase all desired items eve if the user targets the item to be purchased.

DESCRIPTION OF DRAWINGS – The figure shows the block diagram of information management system. (Drawing includes non-English language text).

item memory (23)

item detector (24)

MC EPI: T01-H; T01-J05A; W01-B05

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-15981
(P2003-15981A)

(43)公開日 平成15年1月17日 (2003.1.17)

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 13/00
17/60
H 0 4 Q 7/20

識別記号

5 1 0
1 3 2
5 0 6

F I

G 0 6 F 13/00
17/60
H 0 4 Q 7/04

テマコト(参考)

5 1 0 G 5 K 0 6 7
1 3 2
5 0 6

Z

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21)出願番号

特願2001-197357(P2001-197357)

(22)出願日

平成13年6月28日 (2001.6.28)

(71)出願人 000226998

株式会社日清製粉グループ本社
東京都千代田区神田錦町1丁目25番地

(72)発明者 本間 美紀

東京都中央区新川一丁目28番38号 日清情報システム株式会社内

(72)発明者 黒須 宏典

東京都中央区新川一丁目28番38号 日清情報システム株式会社内

(74)代理人 100097250

弁理士 石戸 久子 (外3名)

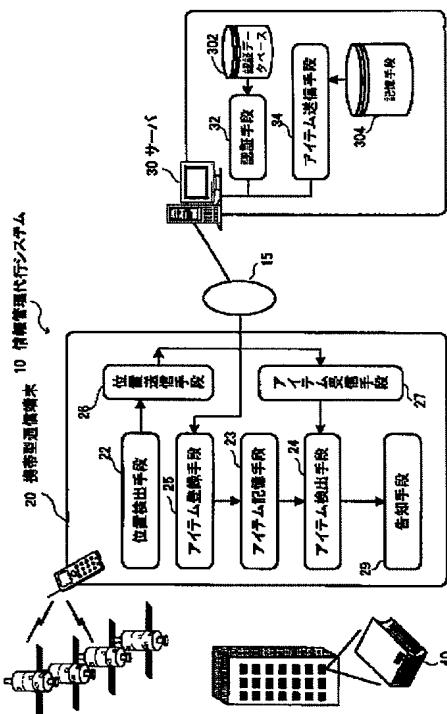
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報管理代行システム

(57)【要約】

【課題】 情報管理を代行し、アイテム自体を忘れたり、アイテムの入手のし損ないといったことを防ぐための情報管理代行システムを提供する。

【解決手段】 ユーザは、予め情報管理代行を希望するアイテムについて、アイテム記憶手段23に登録しておく。位置検出手段22は、自己の位置を検出し、所定時間毎にサーバ30へと送信する。サーバ30のアイテム送信手段34は、記憶手段304を参照してその位置情報を包含する所在地に対応付けられたアイテムの情報を抽出して、それを携帯型通信端末20へと返送する。アイテム検出手段24では、受信されたアイテムが、アイテム記憶手段23に登録されているアイテムの1つと一致するかどうかを判定する。一致しているときには、アイテム検出手段24は、検出信号を告知手段29に出力し、告知手段29が、呼び出し音や振動を発生させて、携帯型通信端末20を所持するユーザにその旨を告知する。



(2)

1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザが使用する携帯型通信端末を用いて情報管理代行を行わせるための情報管理代行システムであつて、
アイテムの情報と、該アイテムの所在地の情報とを関連付けて格納する記憶手段と、
ユーザが情報管理を希望するアイテムの情報を格納するアイテム記憶手段と、
携帯型通信端末の位置を検出する位置検出手段と、
前記位置検出手段から検出された携帯型通信端末の位置と、前記記憶手段に格納されたアイテムと該アイテムの所在地の情報との関連付けとから、該携帯型通信端末が、前記アイテム記憶手段に格納されたアイテムの近傍にいることを検出するアイテム検出手段と、
該アイテム検出手段が前記検出を行った場合に、携帯型通信端末からその旨を知らせる告知信号を発生させる告知手段と、を備える情報管理代行システム。

【請求項 2】 前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段、アイテム記憶手段及びアイテム検出手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手段で検出した携帯型通信端末の位置を前記サーバへ向けて送信する位置送信手段と、サーバからアイテムの情報を受信するアイテム受信手段と、を備えており、サーバはさらに携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムを携帯型通信端末に向けて送信するアイテム送信手段を備えており、前記アイテム検出手段は、アイテム受信手段で受信したアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものである請求項 1 記載の情報管理代行システム。

【請求項 3】 前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段及びアイテム記憶手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手段及びアイテム検出手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手段で検出した携帯型通信端末の位置及びアイテム記憶手段に格納されるアイテムの情報を前記サーバへ向けて送信する位置・アイテム送信手段を備えており、前記アイテム検出手段は、携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものであり、サーバはさらに、アイテム検出手段が一致すると判定した場合に、その検出信号を携帯型通信端末に送信する検出結果送信手段を備える請求項 1 記載の情報管理代行システム。

【請求項 4】 前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手

段、アイテム記憶手段及びアイテム検出手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手手段で検出した携帯型通信端末の位置の情報を前記サーバへ向けて送信する位置送信手段と、を備えており、前記アイテム検出手手段は、携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものであり、サーバはさらに、アイテム検出手手段が一致すると判定した場合に、その検出信号を携帯型通信端末に送信する検出結果送信手段を備える請求項 1 記載の情報管理代行システム。

【請求項 5】 前記位置検出手段は、G P S を用いる請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の情報管理代行システム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ユーザ本人に代わって情報の管理を代行する情報管理代行システムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 仕事等に忙しい現代人にとっては、大事な情報をタイムリーに入手できないことがままある。現在、インターネットを利用して情報を入手することも盛んに行われるようになっており、例えば、得たい情報がありそうなページに登録しメールをインターネット上で送ってもらう所謂メールマガジンというものも存在している。しかしながら、そのメールマガジンという形にまとめて送ってもらうために、速報性に難点がある。

【0 0 0 3】 その一方で、その情報に関するもの（以下、アイテムという）を店頭で購入すれば、即座に入手することができるが、店頭に行っても、必要としているアイテムを購入するのを忘れたり、その店頭にアイテムがあることを知らないが為に、結果として入手できないことがある。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、かかる課題に鑑みなされたもので、情報管理を代行し、アイテム自体を忘れたりアイテムの入手のし損ないといったことを防いで、アイテムを確実に入手することができるよう支援する情報管理代行システムを提供することを目的とする。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明では、ユーザが使用する携帯型通信端末を用いて情報管理代行を行わせるための情報管理代行システムであつて、アイテムの情報と、該アイテムの所在地の情報とを関連付けて格納する記憶手段と、ユーザが情報管理を希望するアイテムの情報を格納するアイテム記憶手段と、携帯型通信端末の位置を検出する位置検出手段と、前記位置検出手段から検出された携帯型通信端末の位置を検出する位置検出手段

と、前記位置検出手段から検出された携帯型通信端末の位置を検出する位置検出手段

(3)

3

位置と、前記記憶手段に格納されたアイテムと該アイテムの所在地の情報との関連付けとから、該携帯型通信端末が、前記アイテム記憶手段に格納されたアイテムの近傍にいることを検出するアイテム検出手段と、該アイテム検出手段が前記検出を行った場合に、携帯型通信端末からその旨を知らせる告知信号を発生させる告知手段と、を備える。

【0006】ユーザは、予め情報管理代行を希望するアイテムについて、アイテム記憶手段に登録しておく。位置検出手段が検出する携帯型通信端末の位置を得て、アイテム検出手段が、記憶手段に格納されたアイテムとアイテムの所在地の情報との関連付けから、携帯型通信端末が登録されたアイテムの近傍にいることを検出すると、告知手段がユーザにその旨を告知する。これにより、ユーザがアイテムの近傍にいることを知ることができ、アイテム自体を忘れたり、アイテムを入手し損なう、といったことを防止することができる。

【0007】任意には、前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段、アイテム記憶手段及びアイテム検出手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手段で検出した携帯型通信端末の位置を前記サーバへ向けて送信する位置送信手段と、サーバからアイテムの情報を受信するアイテム受信手段と、を備えており、サーバはさらに携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムを携帯型通信端末に向けて送信するアイテム送信手段を備えており、前記アイテム検出手段は、アイテム受信手段で受信したアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものとすることができる。

【0008】また、任意には、前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段及びアイテム記憶手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手段及びアイテム検出手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手段で検出した携帯型通信端末の位置及びアイテム記憶手段に格納されるアイテムの情報を前記サーバへ向けて送信する位置・アイテム送信手段を備えており、前記アイテム検出手段は、携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものであり、サーバはさらに、アイテム検出手段が一致すると判定した場合に、その検出信号を携帯型通信端末に送信する検出結果送信手段を備える構成とすることができます。

【0009】また、任意には、前記携帯型通信端末は、通信ネットワークを介してサーバと通信可能となっており、前記位置検出手段は携帯型通信端末に備えられる一方、前記記憶手段、アイテム記憶手段及びアイテム検出

4

手段は前記サーバに備えられており、携帯型通信端末はさらに、位置検出手段で検出した携帯型通信端末の位置の情報を前記サーバへ向けて送信する位置送信手段と、を備えており、前記アイテム検出手段は、携帯型通信端末の位置の情報からその所在地に関連付けられたアイテムが、アイテム記憶手段に格納されるアイテムと同一であるかどうかを判定するものであり、サーバはさらに、アイテム検出手段が一致すると判定した場合に、その検出信号を携帯型通信端末に送信する検出結果送信手段を備える構成とすることができます。

【0010】また、前記位置検出手段は、GPSを用いることができる。

[0011]

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。尚、本発明は明細書内で説明する実施形態に限定されることなく、特許請求の範囲内で種々の変形が可能である。

【0012】第1の実施形態

図1は、本発明の情報管理代行システムの第1の実施形態を表す全体ブロック図である。情報管理代行システム10は、ユーザが使用する携帯型通信端末20と、該携帯型通信端末20とインターネット等の通信ネットワーク15を介して接続されるWEBサーバ30とから構成される。

【0013】携帯型通信端末20は、LCD等の表示部を備えると共に無線通信機能を備えた携帯電話、PHS電話等の携帯用無線電話機、PDAといった携帯型の通信端末である。この携帯型通信端末20は、アンテナを備えており、GPS衛星からの電波を受信することで自己の位置を検出するGPSを用いた位置検出手段22と、管理するべきアイテムであるアイテムの情報を格納するアイテム記憶手段23と、アイテム記憶手段23にアイテムの情報を登録するためのアイテム登録手段25と、前記位置検出手段22で検出した位置の情報を前記通信ネットワーク15を介してサーバ30へと送信する位置送信手段26と、サーバ30から通信ネットワーク15を介して送られてきたアイテムの情報を受信するアイテム受信手段27と、アイテムが近傍にあることを検出するアイテム検出手段24と、アイテム検出手段24でアイテムが近傍にあることが検出された場合に、ユーザに知らしめるべく可聴音、振動等の信号を出力する告知手段29と、を備えている。

【0014】WEBサーバ30は、内部に図示しないCPU、RAM、ROM、通信インターフェース回路、固定ディスク等の記憶装置等を備え、記憶装置等に記憶されたプログラムをCPUで実行することにより、各機能を実現するものである。その機能として、接続された携帯型通信端末20を認証する認証手段32と、携帯型通信端末20に向けてアイテムの情報を送信するアイテム送信手段34と、を備えている。

(4)

5

【0015】また、WEBサーバ30の記憶装置には、ユーザの携帯型通信端末20を認証するために、このシステムに加入する携帯型通信端末20を特定するユーザIDとそのパスワードが格納された認証データベース302と、各アイテムの情報と、そのアイテムが存在する所在地とが関連付けられて格納された記憶手段304が設けられる。

【0016】アイテムはいかなるものとすることもでき、管理代行の対象となる情報そのものまたは情報の具現化されたものであってもよく、または情報が記録された紙媒体、電子媒体等の記録媒体であってもよい。以下、実施形態では、アイテム40として本を例にとて説明する。本の場合には、各本にそれぞれISBNコードが付与されて管理されているので、このコードを利用して記憶手段304を構成することができる。即ち、記憶手段304には、各本のISBNコードとその本を在庫している書店またはその本を所蔵している図書館等の所在地とが関連付けて格納されている。ここで、所在地とは、複数の位置の集合、またはある幅を持った位置として表現することができ、結果として、エリアを表すものとすることができます。

【0017】次に、この情報管理代行システム10の作用を図2及び図3のフローチャートを参照しながら以下に説明する。

【0018】ユーザは、情報管理代行を希望するアイテムについての情報を予め携帯型通信端末20に格納する。今の場合、ユーザが購入を希望している本のISBNコードを格納する。そのために、まず、携帯型通信端末20を登録モードにする(ステップS101)。こうして、アイテム登録手段25が起動する。ISBNコードは、携帯型通信端末20のキーからコードを直接入力することにより登録してもよいし、または、その専用WEBサーバからバーコード情報をダウンロードすることにより行ってもよい(ステップS102)。アイテム登録手段25は、ISBNコードをアイテム記憶手段23に登録する。登録するアイテムは、1つに限らず、複数アイテム登録が可能である。次いで、登録モードを解除して(ステップS103)、登録を終了する。

【0019】登録モードが終了すると、携帯型通信端末20はモニターモードとなり、図3に示す処理が実行される。

【0020】ユーザが携帯型通信端末20を所持して移動をすると、その携帯型通信端末20の位置検出手段22がGPS衛星からの電波を受信して携帯型通信端末20の位置を検出する(ステップS201)。検出された位置情報は認証情報と共に、位置送信手段26から所定時間毎に通信ネットワーク15を介してサーバ30へと送信される。サーバ30の認証手段32では、送られてきた認証情報から、システム加入者からのアクセスかどうかを認証する。そして、認証後、アイテム検出手段36が、送信された位置情報を含む所在地と送信されたアイテム情報とが記憶手段304において関連付けられているかどうかを判定する。記憶手段304において関連付けられているということは、その位置を含む所在地、即ちその所在地にある書店や図書館にアイテム40が存在していることを意味している。アイテム検出手段36

6

4が、記憶手段304を参照してその位置情報を包含する所在地に対応付けられたアイテムの情報を抽出して、それを携帯型通信端末20へと返送する。アイテムがない場合には、該当アイテムがないことを表す信号を返送する。

【0021】携帯型通信端末20のアイテム受信手段27でこれらのアイテムの情報を受信する。アイテム検出手段24では、アイテム受信手段27で受信されたアイテムが、アイテム記憶手段23に登録されているアイテムの1つと一致するかどうかを判定する(ステップS203)。一致しているということは、アイテムが存在している所在地、即ち、その所在地にある書店や図書館に携帯型通信端末20が位置していることを意味する。アイテム検出手段24は、検出信号を告知手段29に出力し、告知手段29が、呼び出し音や振動を発生させて、携帯型通信端末20を所持するユーザにその旨を告知する(ステップS204)。同時に、表示部にその一致したアイテム名を表示する。次いで、ユーザによって告知終了信号が入力されると(ステップS205で「はい」)、一致したアイテム情報をアイテム記憶手段23から消去して(ステップS206)、再びステップS201に戻り、残ったアイテムについて処理を続行する。また、ステップS203で判定が「いいえ」の場合にも、ステップS201に戻り、処理を続行する。

【0022】こうして、ユーザは、アイテムの近傍にいることを携帯型通信端末20からの告知により知ることができて、入手忘れ、入手のし損ない等を防ぐことができる。

【0023】第2の実施形態

次に、図4は、情報管理代行システム10の第2の実施形態を表す図である。図において、図1と同一の手段は、同一の符号を付し、その詳細説明を省略する。

【0024】この実施形態では、携帯型通信端末20が位置・アイテム送信手段26-1を備えており、サーバ30がアイテム検出手段36と検出結果送信手段38とを備えている点で、図1の実施形態と異なっている。

【0025】この実施形態では、そのモニターモードにおいて、位置検出手段22で検出した位置と、アイテム記憶手段23に登録されたアイテムの情報とが認証情報と共に、位置・アイテム送信手段26-1から所定時間毎に通信ネットワーク15を介してサーバ30へと送信される。サーバ30の認証手段32では、送られてきた認証情報から、システム加入者からのアクセスかどうかを認証する。そして、認証後、アイテム検出手段36が、送信された位置情報を含む所在地と送信されたアイテム情報とが記憶手段304において関連付けられているかどうかを判定する。記憶手段304において関連付けられているということは、その位置を含む所在地、即ちその所在地にある書店や図書館にアイテム40が存在していることを意味している。アイテム検出手段36

(5)

7

は、検出信号を検出結果送信手段38に出力し、検出結果送信手段38から検出結果信号を携帯型通信端末20へと返送する。携帯型通信端末20の告知手段29は、この検出結果信号を受けて、呼び出し音や振動を発生させて、携帯型通信端末20を所持するユーザにその旨を告知する。以降の処理は、ステップS204からステップ206と同様である。

【0026】検出結果送信手段38は、例えばEメールを送信することで検出結果信号を送信することができ、Eメールの到着信号を携帯型通信端末20の告知手段29による告知とすることができます。

【0027】本実施形態では、サーバ30側で、アイテム情報と位置情報との一致・不一致の検出処理を行うようにしているために、携帯型通信端末20の処理負担を軽減することができ、また、携帯型通信端末20とサーバ30間での送受データ量を低減することができる。

【0028】第3の実施形態

次に、図5は、情報管理代行システム10の第3の実施形態を表す図である。図において、図1及び図4と同一の手段は、同一の符号を付し、その詳細説明を省略する。

【0029】この実施形態では、携帯型通信端末20が位置送信手段26を備えており、サーバ30がアイテム検出手段36と検出結果送信手段38とユーザアイテム記憶手段306とを備えている点で、図4の実施形態と異なっている。

【0030】ユーザアイテム記憶手段306には、各ユーザ毎に、その情報管理代行を希望するアイテムについての情報がユーザIDとパスワードと関連付けられて格納される。このユーザアイテム記憶手段306への登録は、各携帯型通信端末20の登録モードで行うことができ、アイテム登録手段25が、そのアイテムについての情報を、通信ネットワーク15を介してユーザアイテム記憶手段306へ登録する。または、携帯型通信端末20からではなく、別途の端末から通信ネットワーク15を介してサーバ30にアクセスして登録することも可能である。

【0031】モニターモードにおいて、位置検出手段2で検出した位置の情報が認証情報と共に、所定時間毎に通信ネットワーク15を介してサーバ30へと送信される。サーバ30の認証手段32では、送られてきた認証情報から、システム加入者からのアクセスかどうかを認証する。そして、認証後、アイテム検出手段36が、認証手段32で特定されたユーザの情報からユーザアイテム記憶手段306を参照して、そのユーザに対応するアイテムを抽出し、送信された位置情報を含む所在地と抽出されたアイテムとが記憶手段304において関連付けられているかどうかを判定する。記憶手段304において関連付けられているということは、その位置を含む所在地、即ちその所在地にある書店や図書館にアイテム

8

が存在していることを意味している。アイテム検出手段36は、検出信号を検出結果送信手段38に出力し、検出結果送信手段38から検出結果信号を携帯型通信端末20へと返送する。携帯型通信端末20の告知手段29は、この検出結果信号を受けて、呼び出し音や振動を発生させて、携帯型通信端末20を所持するユーザにその旨を告知する。以降の処理は、ステップS204からステップ206と同様である。

【0032】検出結果送信手段38は、例えばEメールを送信することで検出結果信号を送信することができ、Eメールの到着信号を携帯型通信端末20の告知手段29による告知とすることができます。

【0033】本実施形態では、サーバ30側で、ユーザアイテム記憶手段306を備えると共に、アイテム情報と位置情報との一致・不一致の検出処理を行うようにしているために、携帯型通信端末20の処理負担をより軽減することができ、また、携帯型通信端末20とサーバ30間での送受データ量を低減することができる。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように、本発明による情報管理代行システムを利用することにより、携帯型通信端末を所持するユーザが自動的にアイテムの近傍にいることを知ることができ、アイテム自体を忘れたり、アイテムを入手し損なう、といったことを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報管理代行システムの実施形態を表す全体ブロック図である。

【図2】携帯型通信端末の登録モードの処理を表すフローチャート図である。

【図3】携帯型通信端末のモニターモードの処理を表すフローチャート図である。

【図4】本発明の情報管理代行システムの第2の実施形態を表す全体ブロック図である。

【図5】本発明の情報管理代行システムの第3の実施形態を表す全体ブロック図である。

【符号の説明】

10 情報管理代行システム

20 携帯型通信端末

22 位置検出手段

23 アイテム記憶手段

24 アイテム検出手段

26 位置送信手段

26-1 位置・アイテム送信手段

30 サーバ

36 アイテム検出手段

38 検出結果送信手段

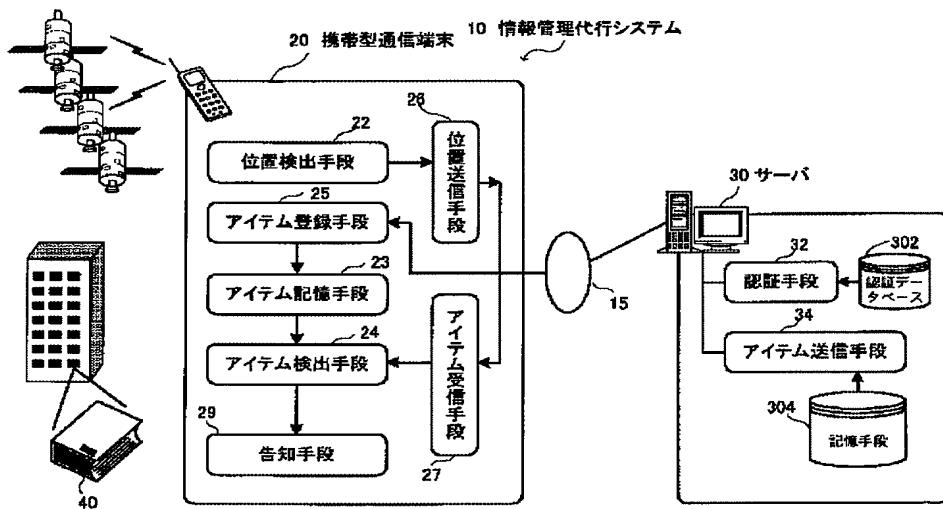
304 記憶手段

306 ユーザアイテム記憶手段

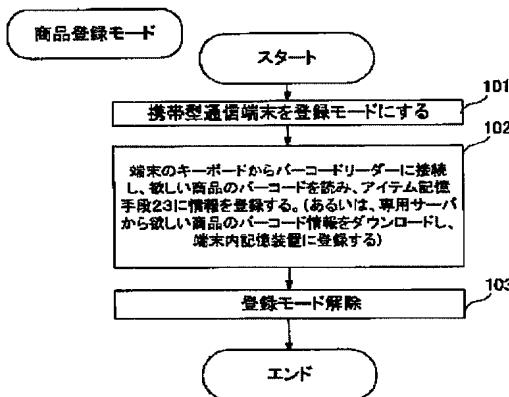
50

(6)

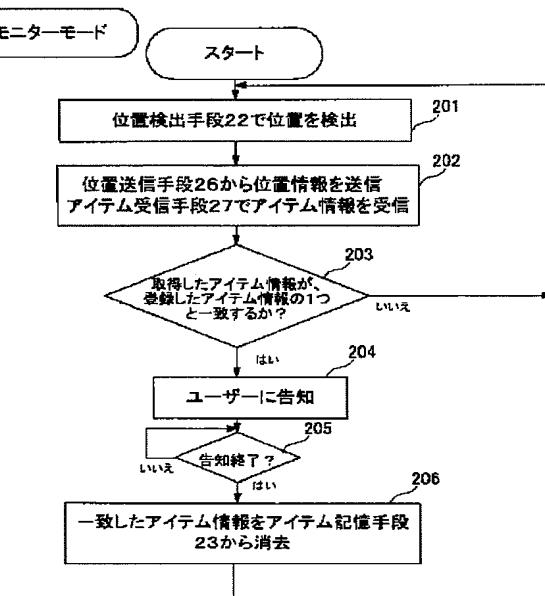
【図1】



【図2】

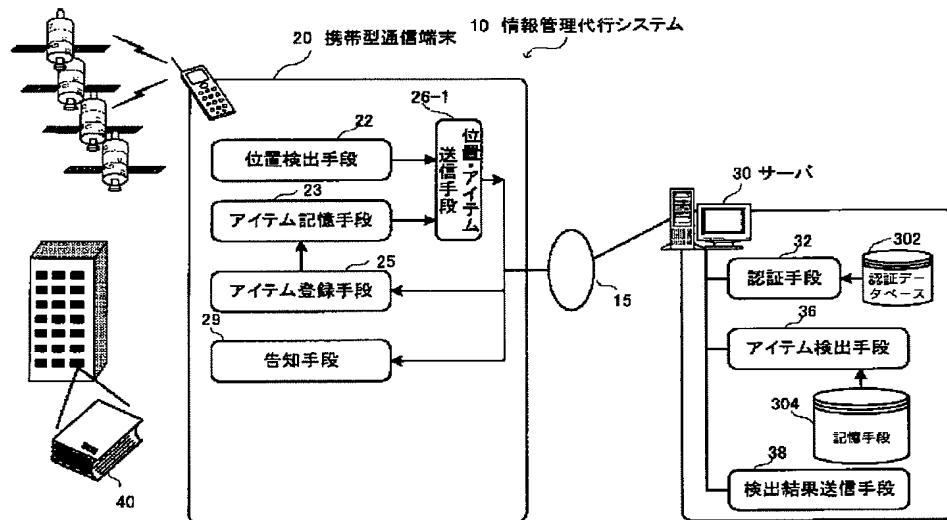


【図3】

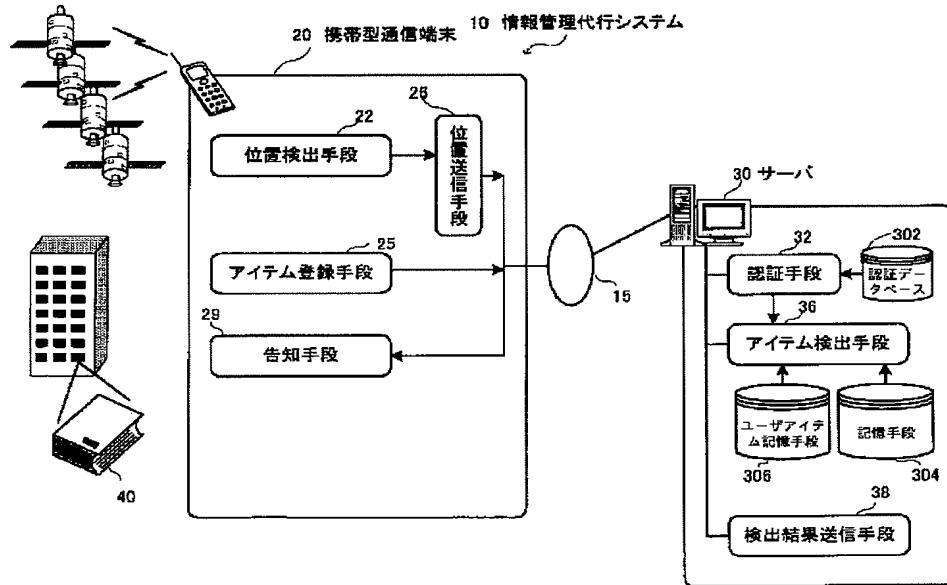


(7)

【図4】



【図5】



フロントページの続き

F ターム(参考) 5K067 AA34 BB04 BB21 DD20 FF02
 FF03 FF27 GG01 GG11 HH05
 HH22 HH23 JJ52 JJ56 JJ66